

ISO行動指針 “5SとABCの徹底”

オオケン便り

お知らせ

<セキュリティ事業部>

3月に入り日中の気温が上がってきました。4月になると昼間は冬制服では暑さを感じる日も増えてきますが、そのようななか、先日他社の警備員が上着のボタンを開けたまま歩いている姿を見かけました。その警備員が業務中であったのか休憩中であったのかは分かりませんが、**制服を着崩して着用することは、その警備員だけでなく警備会社や契約先にも悪い印象をあたえることに繋がります。**暑さを感じたなら、上着をはだけるのではなくきちんと脱ぐ。また、人目に触れる場所では休憩中でも制服を正しく着用することを厳守して下さい。



<クレンリネス事業部>

現在当社のホームページには、**新型コロナウイルスの病棟を消毒清掃する際の手順が掲載されています。**この度、これを英語版でも作成し既に日英版が併記されています。この英語版の原案は、クレンリネス事業部に所属する女性スタッフがわずか1週間で作成し、その後の検討も加えながら大変素晴らしいものが出来上がりましたので、皆さんもご覧になってください。

5月からは、北部医療センター安佐市民病院の業務も始まります。**クレンリネス事業部の成長は、スタッフ一人一人の活躍が不可欠です。**採用面接も開始していますので、お知り合いの方に清掃に興味がある方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。

<FM事業部>



FM事業部の事業所において、今年に入り4件の労災事故が発生しました。その内、2件は**脚立・架台からの転落で、幸い軽症で済みましたが、いずれもヘルメット未着用でした。**ひとつ間違えば人命にかかわる大事故に繋がっていたことを重く受けとめ、徹底した安全対策を講じなければなりません。①高所及び機械室内作業時のヘルメット着用を義務づける。

②脚立作業については「脚立の正しい使い方」に基づき、適正なものを配備し、適正な人員での実施を徹底する。③毎朝の健康チェックで、体調が万全でない時は、特に高所等の危険を伴う作業は実施しない。など、各事業所で安全対策・危険予知の意識を高め、無事故・無災害に努めてください。

<東京支店>

東大近くの不忍池や上野恩賜公園交番横は頼朝桜（河津桜）やオオカンザクラが満開ですが、新型コロナウイルス未だ収束の見えない春です。しかしながら、東京支店においては、**みなとリサイクル清掃事務所の清掃業務と豊島合同庁舎の設備管理業務を無事落札することができました。**東大病院も昨年春、外来・中央診療棟の清掃業務を再開してから一年が経とうとしています。コロナ禍の困難な状況の中、エッセンシャルワーカーとして業務に従事して頂いている従業員各位に敬意を表します。年度末、これもまた一つの区切りです。さあ、**最後まで気を抜かず、コロナや花粉にも負けず、重いコートを脱いで気持ちも軽く、新年度に向けてがんばりましょう。**



<営業推進部>

令和4年度を迎え、広島市留学生会館では3期目の新体制でのスタート、中小企業会館、可部運動公園、西部埋立第五では5年契約の3年目の折返し時期、ファミリープールは次期契約の確保となり、それぞれ大事な時期に当たります。新たな気持ちでアフターコロナに向け各事業所と共に一丸となって、ISOの行動指針である5S・ABC・労災撲滅を徹底し、利用者が安全、安心、快適に利用できる施設管理運営に取り組みます。

<広島市中小企業会館>

令和3年度も残すところあと僅かとなりました。今期を振り返ると新型コロナウイルス対応に追われた1年でしたが、そのような中「オクタノルムパネルとフォークリフトの設置貸出」「授乳室の設置」などの新たな取り組み、「展示館の床面復元」「外壁の塗装」などの修繕、「緊急地震速報訓練」の積極的参加などに努めました。今後とも来館者の皆様に安全、安心、快適にご利用頂けるよう会館の管理運営を行ってまいります。

<広島市留学生会館> (国際交流・国際協力の拠点)

当館は、1月9日に発令された新型コロナ“まん延防止等重点措置”により約2か月間の臨時休館を経て、3月8日からようやく開館する事となりました。また、海外からの入国制限については、政府は5月末までに約10万人の留学生を入国させる方針も示しており、**広島にも多くの留学生が訪れることで、国際交流の活性化に繋がる事が期待されています。**

<安全衛生委員会>

皆さんの身を守る保護具は様々ありますが、適切に使用しないと自分自身の身を守ることはできません。今回発生した3件の事故(詳細は事故報告参照)はいずれも軽傷で済みましたが、一つ間違えれば重大事故につながっていた可能性があります。頭部を守るためのヘルメットや目を守るためのゴーグル、切創などを守るための手袋など、決められたルールに従って適切に着用を行うようにしてください。同様の事故が発生しないよう、一人一人の心がけが事故や危険から身を守ることに繋がります。今期も残すところあとわずかです。**5S・ABCを徹底し、令和4年度は事故のない1年にしましょう。ご安全に!!**

<磨種(ときぐさ)>

3月7日広島県はまん延防止等重点措置を解除、啓蟄で地面から虫が顔を出すように、広島市の繁華街に灯がつき始め、北海道・青森・茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・石川・岐阜・静岡・愛知・京都・大阪・兵庫・香川・熊本の18都道府県も、3月22日には春分を境に解除され、旅行や出張など人の流れに回復の兆しが見え始めました。

一方、ヨーロッパに目を転ずると、冬季五輪直後の2月24日ウクライナ侵攻したロシアが、ウクライナ国民挙げての抵抗に遭い、8年前のソチ冬季五輪直後クリミア半島を武力併合した時とは違う様相を呈し、ウクライナ国民への尊敬の念は世界中に広まっています。

現在欧州各国への天然ガス供給が止まり、国際的なエネルギー価格高騰が始まっていますが、ウクライナ国民の想像を絶するような塗炭を舐める苦しみに比べれば我々は我慢をしなければ申し訳がありません。

春分を迎え雀始巣・桜始開・雷乃発声・土筆・帆立貝・🌸・桜餅・暁曙と続いて清明となりますが、武漢に端を発した新型コロナウイルスは世界中に拡散し新株に変異して3年、今やオミクロン株として日本でも世界でも存続拡大しています。オオケンはUV-CによるCOVID-19病室の環境整備の手順を確立してホームページに公開し、正しいグリーン化例を論文形式で知らせており英訳文も公開しました。今後我々はウイルス類や菌類等あらゆる生物群と共存することを認め、それらが社会に存在する前提で経済活動を進めることが肝要です。

たとえ明日世界が減びると知っても私は林檎の木を植え続けると説いたドイツ人神学者マルチンルターの言葉ですが、いつも気持ちは澆冽颯爽として毎朝起床し、一日が平和に過ごせることの有難さを感謝せずにはいられません。余力があればウクライナからの避難民に援助の手を差し伸べたいものです。

